

第1章 本書の目的と位置づけ等

1. 目的と位置づけ

色彩は、景観を構成する重要な要素のひとつです。

建築物等を建築する際は、景観が大きく損なわれることのないよう、地域の景観特性に配慮して色彩計画を行うことが求められます。

本ガイドラインは、成田市景観計画の色彩基準に定めた配慮事項を基に、地域ごとになじみやすく、お勧めしたい色彩を推奨色として示し、色彩計画を行う際の参考としていただくために定めるものです。

2. 色彩の調査

本ガイドラインの策定にあたっては、市内の色彩の現状調査や、中学生を対象に景観の色彩に関するアンケート調査を行いました。

1) 色彩の現状調査

地域の景観は、その地域の人々の生活の営みや風土から育まれてくるものであり、地域の歴史や人々の生活感が感じられるものです。建築物等の建築を行う際は、周辺の景観に配慮するとともに、背景にある周辺の色彩をよく把握した上で色彩計画を行うことが求められます。

本ガイドラインでは、成田市景観計画に示す景観ゾーン及び景観拠点別に、景観の色彩の現状調査を行い、本ガイドラインの基礎資料としました。設計等の色彩計画を行う際に、色彩の現状を把握するための参考としてください。

2) 景観の色彩に関するアンケート調査

成田市景観計画の基本目標を「未来へつなぐ 自然と歴史と世界が交流する 成田の景観づくり」と定めているように、次世代へ美しい成田の景観を継承するためにも、今後の成田市を担う世代の景観意識の確認が重要と考え、若い世代を対象に景観の色彩に関するアンケート調査を行うこととしました。

アンケート調査の対象は、色彩を見る能力が備わり、また、自分の住んでいる街への理解が深まる年代である中学3年生とし、市内各地域の特色を確認するために、市内全ての市立中学校各校1クラスで実施しました。

なお、このアンケート調査の結果は、色彩を推奨する方向性の判断の参考にしております。

以上のように、本ガイドラインでは色彩の現状調査と色彩アンケート調査の結果を踏まえ、地域の景観になじみやすい色彩を検討し、示していきます。

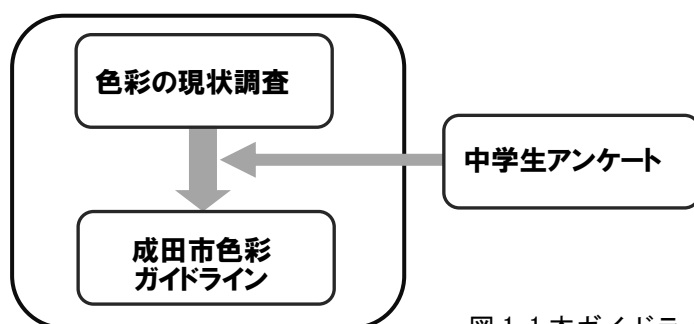


図 1-1 本ガイドラインの基礎とした調査